

2026年3月期 第3四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社
(単位: 億円 億円未満切捨て)

2026年3月期 第3四半期決算の概要

・本年度第3四半期決算は、プライマリーメタル事業や海外販売子会社において取引が拡大した結果、売上高は前年同期比2%増の1兆9,654億円となりました。利益面では、主にリサイクルメタル事業の損益が悪化したことや人件費の増加などにより、営業利益は前年同期比12%減の414億円に、経常利益は前年同期比16%減の364億円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19%減の256億円となりました。

・年間配当は250円(中間配当125円、期末配当125円)を予定しております。

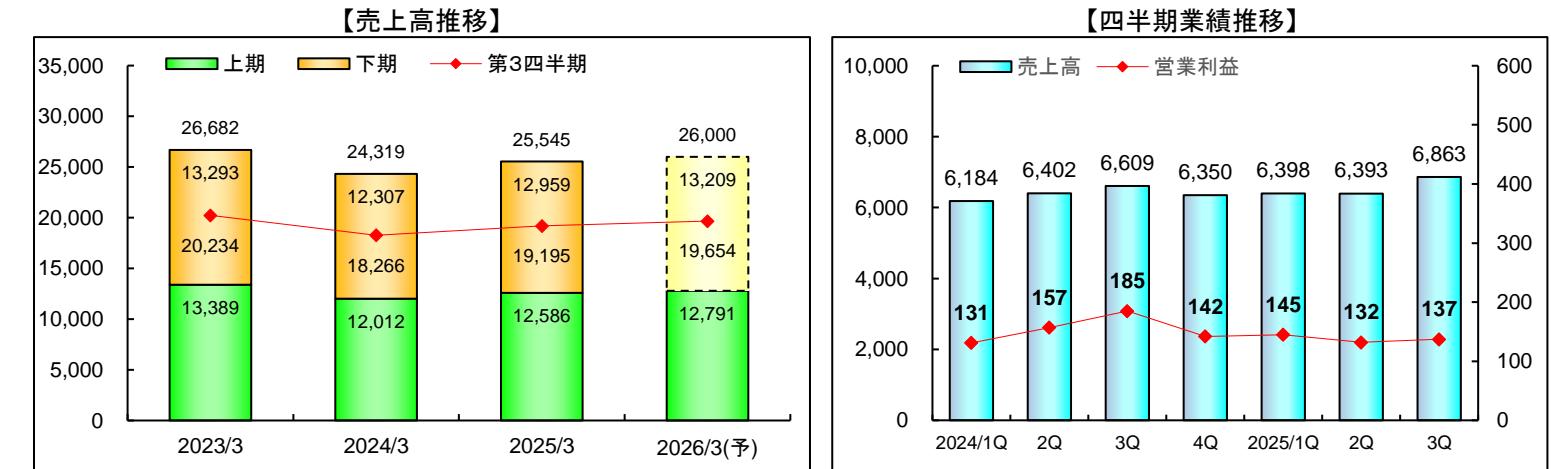
経営成績	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	前年同期比 増減	主な要因
売上高	19,195	19,654	458 2%	(売上高) プライマリーメタル事業や海外販売子会社において取引が拡大した結果、前年同期比2%増の1兆9,654億円となりました。
売上総利益	1,038	1,023	△15 △1%	(販管費) 前年同期比で43億円(新規連結子会社の影響額は10億円)の増加でした。その内、人件費は26億円(新規連結子会社の影響額は6億円)の増加でした。
販管費	564	608	43 8%	(営業外収益) 営業外収益は9億円減少、営業外費用は1億円減少しました。経常利益に対する主な影響は以下の通りです。 受取配当金: 前年同期比で9億円の減少 支払利息: 前年同期比で10億円の減少 持分法投資損失: 前年同期比で24億円の増加 為替差損: 前年同期比で6億円の減少
営業利益	473	414	△59 △12%	(特別利益) 投資有価証券売却益: 前年同期比で16億円の減少 関係会社出資金売却益: 前年同期比で9億円の減少
営業外収益	82	72	△9 △12%	(特別損失) 投資有価証券売却損: 当期において1億円の発生
営業外費用	123	122	△1 △1%	
経常利益	432	364	△67 △16%	
特別利益	27	1	△26 △96%	
特別損失	—	1	—	
税引前四半期純利益	459	363	△96 △21%	
法人税等	143	112	△31 △22%	
四半期純利益	316	251	△65 △21%	
親会社株主帰属分	317	256	△61 △19%	
非支配株主帰属分	△1	△5	△3 —	
EPS	786.75円	644.32円	△142.43円 △18%	
四半期包括利益	272	320	47 18%	

セグメントの状況	売上高		セグメント損益(経常損益)		主な要因		
	前第3四半期	当第3四半期	増減率	前第3四半期	当第3四半期	増減率	
鉄鋼	8,733	8,068	△8%	238	282	19%	(鉄鋼) 各種鋼材価格の下落や鋼板の取扱数量が減少したことなどが収益を押し下げました。一方、建設資材の販売が堅調に推移したことや一部の海外子会社で採算が改善したことなどが利益を押し上げました。
プライマリーメタル	1,427	1,764	24%	29	3	△90%	(プライマリーメタル) 一部の副資材の販売が堅調に推移したことなどが収益を押し上げました。一方、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD.からの持分法による投資損失が拡大したことが利益を押し下げました。
リサイクルメタル	1,786	1,967	10%	29	△20	—	(リサイクルメタル) 鉛鉱石の取扱数量が増加したことなどが収益を押し上げました。一方、棚卸資産の価格変動リスクをヘッジするデリバティブ取引において評価損を計上したことなどが利益を押し下げました。
食品	1,080	1,185	10%	22	33	49%	(食品) 米国子会社で外食産業向け販売が好調に推移したことや、新規連結子会社の業績などが収益・利益を押し上げました。
エネルギー・生活資材	2,843	2,794	△2%	76	56	△25%	(エネルギー・生活資材) 原油価格が低調に推移したことや、化学品関連の採算が悪化したことなどが収益・利益を押し下げました。
海外販売子会社	3,222	3,812	18%	60	41	△32%	(海外販売子会社) 東南アジアでスクラップ取引が拡大したことや、新規連結子会社の業績などが収益を押し上げました。一方、主に鉄鋼製品の採算が悪化したことなどが利益を押し下げました。
報告セグメント計	19,093	19,591	3%	456	395	△13%	
その他	997	977	△2%	15	14	△3%	
合計	20,090	20,568	2%	471	410	△13%	
調整額	△894	△913	2%	△39	△46	16%	
PL計上額	19,195	19,654	2%	432	364	△16%	
トピックス	4月 兼松トレーディング株式会社(現HKGトレーディング株式会社)の株式の100%を取得(協和スチール株式会社、永和金属株式会社、株式会社建鋼社、協和運輸株式会社も同時にグループ会社化)。						

*当第3四半期連結会計期間より、当社から連結子会社への株式譲渡による組織構造の変更に伴い、従来「鉄鋼事業」に区分しておりましたCOSMO STEEL HOLDINGS LTD.を「海外販売子会社」に変更しております。なお、前年同期比較につきましては、変更後の区分方法に基づき行っております。

トピックス

財政状態	前期末	当第3四半期	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産 (流動資産) (固定資産)	11,658 9,037 2,621	11,456 8,815 2,641	△201 △221 20	△2% △2% 1%	(総資産) 現金及び預金や棚卸資産の減少などにより、前期末比2%減となりました。
負債 (グロス有利子負債) (ネット有利子負債) Net DER	7,763 3,823 3,170 0.8/0.7*倍	7,403 3,467 3,037 0.8/0.7*倍	△359 △355 △132 △0.1倍	△5% △9% △4% —	(負債) 短期借入金や社債の減少などにより、前期末比5%減となりました。有利子負債は9%減少し、Net DERは0.8倍(*0.7倍)となりました。
純資産 (株主資本) (その他の包括利益累計額) (非支配株主持分) BPS	3,894 3,396 433 64 9,485.64円	4,053 3,493 504 55 10,177.82円	158 96 70 △8 692.18円	4% 3% 16% △14% 7%	(純資産) 親会社株主に帰属する四半期純利益からの利益剰余金の積み上がりやその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比4%増となりました。自己資本比率は、前期末比2.0ポイント上昇の34.9%(*37.1%)となりました。 (*ハイブリッドローン考慮後のNet DER及び自己資本比率)
自己資本 自己資本比率	3,830 32.9/35.0*%	3,997 34.9/37.1*%	167 2.0pt	4% —	



今期の見通し	前期実績	今期業績予想	配当の状況		
			対前期増減率	前々期実績	前期実績
売上高	25,545	26,000	2%	85.00円	105.00円
営業利益	615	550	△11%	100.00円	125.00円
経常利益	597	550	△8%	185.00円	225.00円
親会社株主に帰属する当期純利益	454	400	△12%	D 0 E *	2.7% 3.0% 3.0%
有利子負債残高	3,809	3,654	—		
Net DER	1.0	0.8	—		
ハイブリッドローン考慮後	0.7	0.7	—		

* DOE(株主資本配当率) = 配当総額 ÷ 期首株主資本